SAPAC

WINGSPAN: 950mm

※組み立てる前にこの説明書を良くお読みになり充分に理解してください。
Before use, please carefully read the explanations!

RADIO CONTROLLED ELECTRIC DUCTED FAN JET AIRPLANE KIT

T-45 GosHawk
BAE Hawk - Red Arrows

ラジオコントロール 電動ダクテッドファン ジェットプレーン キット

組立/取扱説明書

※上記写真はプロトタイプのため、製品版と一部カラーリングが異なる場合があります。

【機体諸元】
全幅 950mm 全長 1000mm
全備重量: 1,200～1,300g (バッテリー含まず)
翼面積: 18d㎡
70mm ファンユニット
RS装置 6-8 channels, 6-8 micro servos, 1 ESC
固定脚パーツ付属、専用エアー式リトラクトシステム(別購入品)

推奨パワーシステム(別購入品):
ブラシレスモーター 2842MB1 @3200KV (1100W)
リポ対応ブラシレススピコン 80A+
バッテリー: Lipo 14.8V 3300～3700mA 25C
サーボ: Futaba S3110/S3114 x 6～8
※搭載するサーボによって、機体のサーボベッドを
加工する必要があります。

組立に必要な別購入品:
受信機・スピコン・サーボ・サーボ延長コード
ヒンジテープ・セメンダインスーパーX2、瞬間接着剤、
瞬間硬化促進剤 ネジロック剤
キャノピー窓枠用カッティングシート

注意事項!

この無線操縦模型は玩具ではありません!

●この商品は高い性能を発揮するように設計されています。組立に不慣れな方は、模型をよく知っている人にアドバイスを受け確実に組み立ててください。
●小さな部品があるので、組立て作業は、幼児の手がとどかない所で必ず行ってください。
●動かして楽しむ場所は万一の事故を考えて、安全を確認してから責任をもってお楽しみください。
●この説明書は、大切にお手元に保管してください。
●本製品は半完成キットであり、全てが寸分の狂いもなく合うわけではありません。加工が必要な部分があるキット内容です。
※製品改良のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

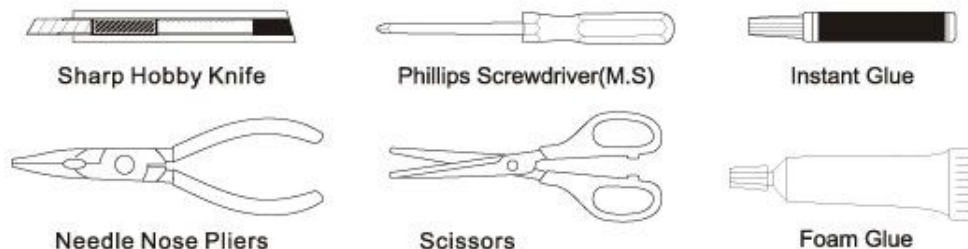
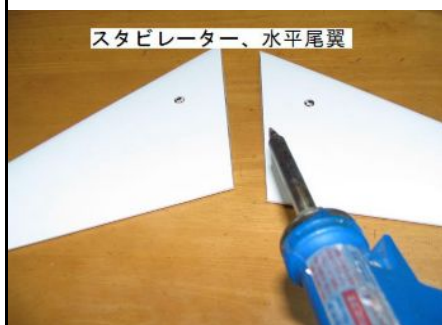
北西産業株式会社 ホクセイモデル事業部
〒651-0084 神戸市中央区磯辺通4-2-26(新芙蓉ビル)
TEL 078-231-3468 FAX 078-231-3440
営業時間 PM1:00 ～ PM5:00 (土日祝休)
e-mail : hk-model@muse.ocn.ne.jp
URL: http://www.hokusei-kobe.co.jp

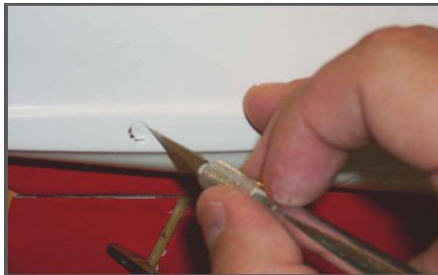
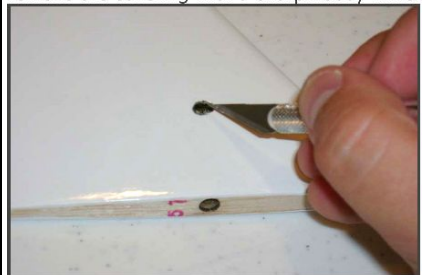
【警告】

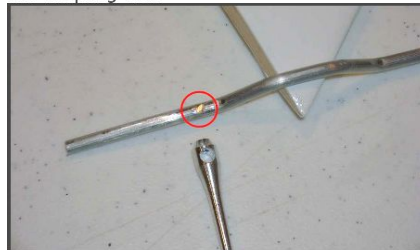
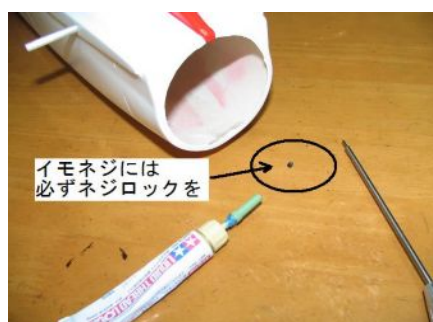
●T-45 ゴスホークはリポ対応ブラシレスモーター、14.8V リチウムポリマーバッテリーを対象に設計された、高性能を追及した電動ダクテッドファン専用機です。 超過規格のモーターやバッテリーの使用はおやめ下さい。
規定以上のモーターやバッテリーをご使用になりますと、飛行中に動翼がフラッターを起こしたり、主翼が折れたり空中分解する場合があり、大変危険です。 機体が墜落となりましても、機体メーカーとして責任は一切負えませんので ご了承下さい。
●この機体は、無線操縦飛行機経験者を対象にしていますので、無線操縦飛行機が初めてという方は、製作ならびに飛行は一切出来ません。
●T-45 ゴスホークは中・上級者向けです。高速で非常に良く飛ぶ飛行機ですが、それにともない飛行技術やノウハウが要求されますので、入門者や初心者の方には向いておりません、予めご了解下さい。
●この機体のようなダクテッドファン機は、一定の機速が得られないと舵が効かない為に離陸する事が出来ません、草の生えた路面やでこぼこの路面では、機速が稼げず離陸は困難です。
万一浮いてしまった場合は舵が効かず失速してしまいますので、ご注意ください。
●飛行させて楽しむ場所は万一の事故を考えて、安全を確認してから責任をもってお楽しみください。
●本製品は半完成キットであり、全てが寸分の狂いもなく合うわけではありません。
加工が必要な部分があるキット内容です。
●ダイブ状態でスロットルを全開するとフラッタを起こす場合があります。
スロットルのコントロールは十分ご注意下さい。フラッターにより機体が墜落となりましても、機体メーカーとして責任は一切負えませんので ご了承下さい。
●日常の飛行においても、バッテリー残量、リンケージ、舵方向のチェックをおこない、安全飛行を心がけて下さい。
●スピードコントローラー（スピコン）の設定につきましては、メーカーの注意事項をよくお読みに なって安全にご使用下さい。
●リチウムポリマー電池の取扱い方法ならびに充電方法につきましては各メーカー、販売元の注意事項をよくお読みになって安全にご使用下さい。

製作する前に必ずお読み下さい。

このたびは、T-45 ゴスホークを購入いただき ありがとうございます。
完成機ではありません。自作加工の必要な上級者向けキットです。
キットの組立が初めてという方は、製作は難しいです。 入門者や初心者には向いておりません。予めご了解下さい。
本製品は、手作業による塗装のため塗りムラがある場合がございます。予めご了承下さい。
完璧なものをご希望でしたら、本機のご購入はご遠慮下さい。
万が一墜落した場合には折れたり破損することがあります。
組立には組立説明書をよくお読みになり、瞬間接着剤とスーパーX等のボンドを使い分けてご使用下さい。

製作・飛行に別途必要な主な道具

1. 水平尾翼、エレベーター

スタビの裏面に在る、穴を開けておきます。
カーボンロッドにリンク部品を付ける際、サンドペーパーで荒らし接着しやすくします。

remove the covering with a sharp hobby knife.

bearing blocks will be bonded.

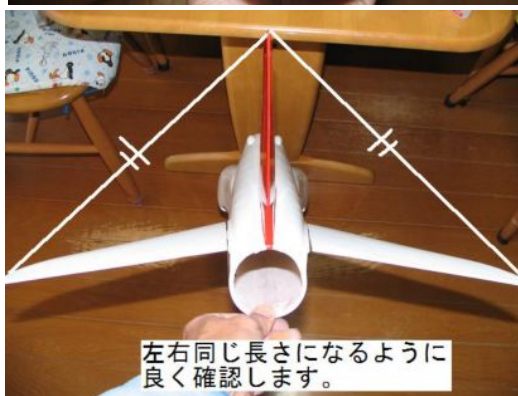
the coupling rod.

抜け止めに、つまようじ等でピンを打ちます。
後部から見て左端しにコントロールホーンを差し込みます（写真中央）

コントロールホーンのイモネジには、必ず、ネジロックをします。位置を確かめしっかりと締め付けます（写真中央）

位置決め＆スペーサーのベニア板を胴体側面に瞬間で接着します。

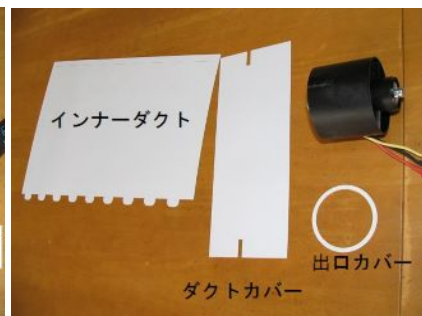
サーボホーンの裏面に、ボールを取り付け、余ったビスは、必ず切り取り、やすりで平らにします（写真左）

オプション

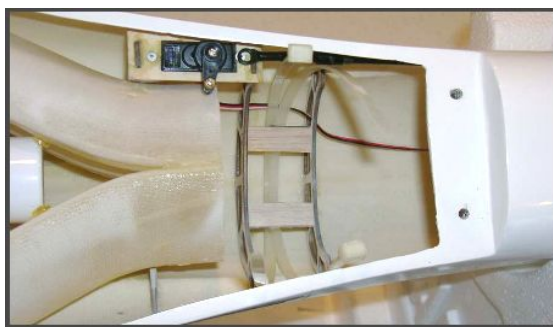
サーボの種類によっては、リンケージが主翼に当たる場合があります。
その場合はサーボベッドを加工してリンケージが主翼と干渉しないようにしましょう。

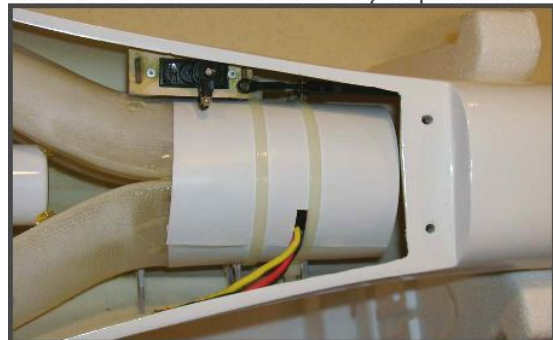
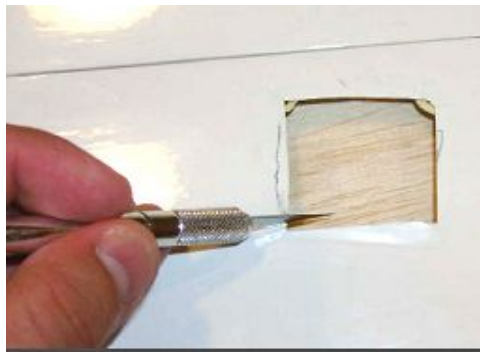
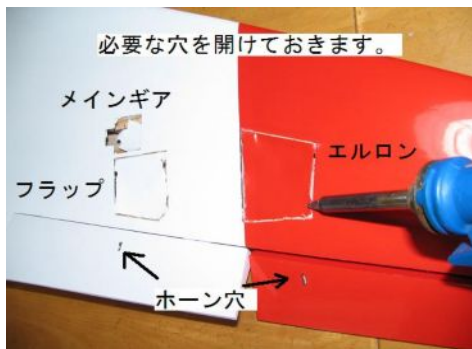
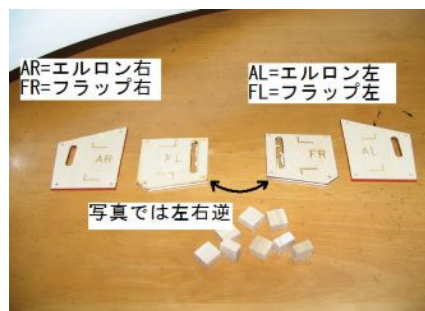
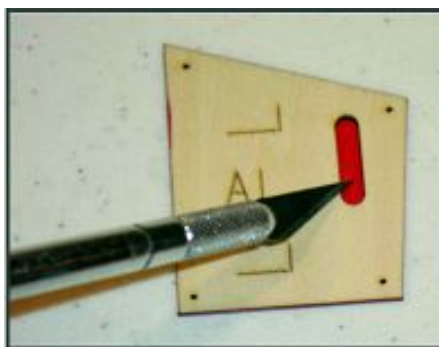
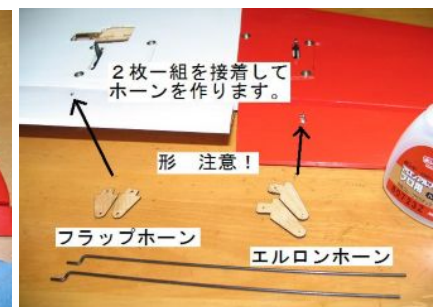
2. スタビレーター(水平尾翼)

スタビレーターを、一度差し込み左右同じ一直線になっているか？確認します。
左右の高さが違うようなら、アルミのバーを曲げ、しっかりと接着固定します。

受信機の電源を入れサーボのニュートラルをだして、スタビレーターのニュートラルも出して、リンケージします。
作動確認もしておきます。

３. ファンユニットの搭載

モーターマウント部後方は外筒後縁に合わせてカットして（写真左）
冷却性を上げるため、モーターの後部を出して下さい（写真中央）

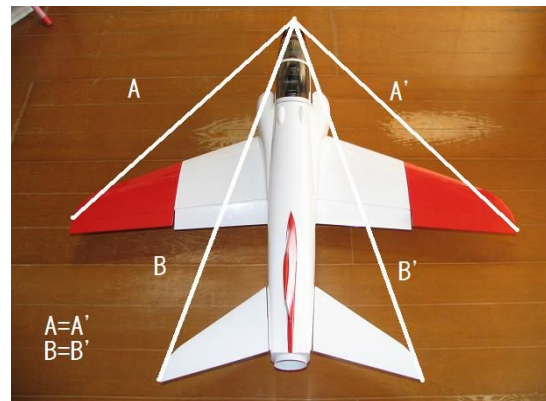
【注意】スピンナーは使用しません。

ファンにモーターを組み込み作動確認をしておきます。

fiberglass inlet ducts.

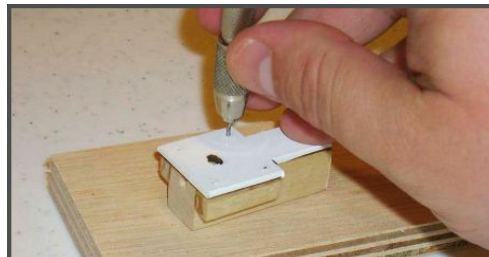
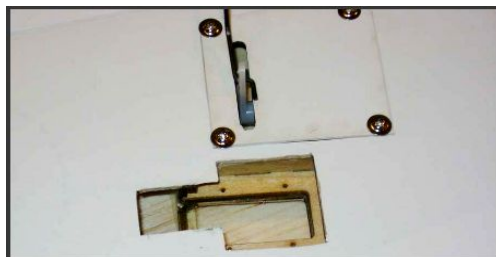
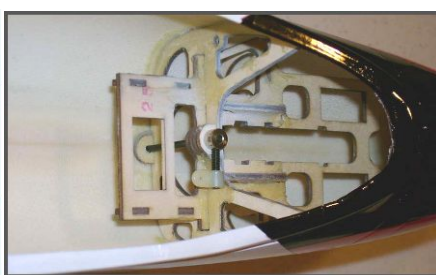
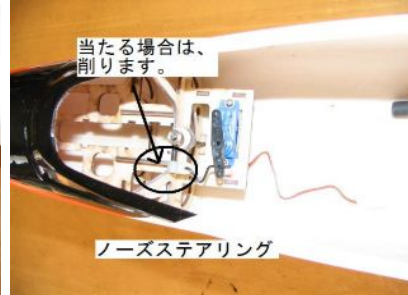
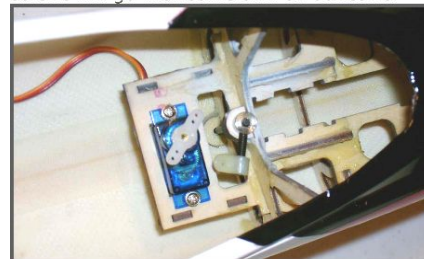
have to do is hold the assembly in position.

4. エルロン・フラップのリンケージ

主翼に在る、必要な穴を、切り取っておきます。エルロン、フラップサーボ固定カバーは、左右が在ります。
一度合わせて確認します。

使用するサーボに合わせて、マウント材を瞬間で接着します。
取り付け台の長穴位置と、サーボの出力軸の位置に注意します。

サーボコードに延長コードをつける場合、必ず抜け止め処置をしておきます。
エルロンホーンとフラップホーンは、形状が異なります。写真を参考に、間違えないようにします。

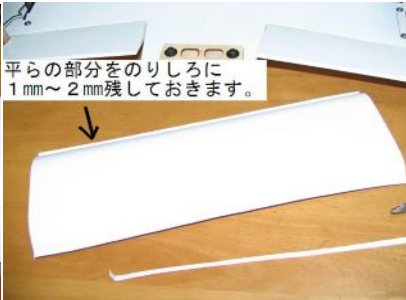
受信機の電源を入れ、ニュートラルを出してから
サーボを取り付け、リンケージします。
フラップサーボのATV(エンドポイント)は最初に±40%位に
プロポ側を設定してから動作させて下さい。そうしないと
振り切って、フラップサーボが破損する場合があります。

5. ウイングボルト

主翼に補強板を仮止めして、胴体に一度仮付けしてみます。
取り付け状態を、良く確認します。

6. ノーズギア、メインギア　（固定脚）

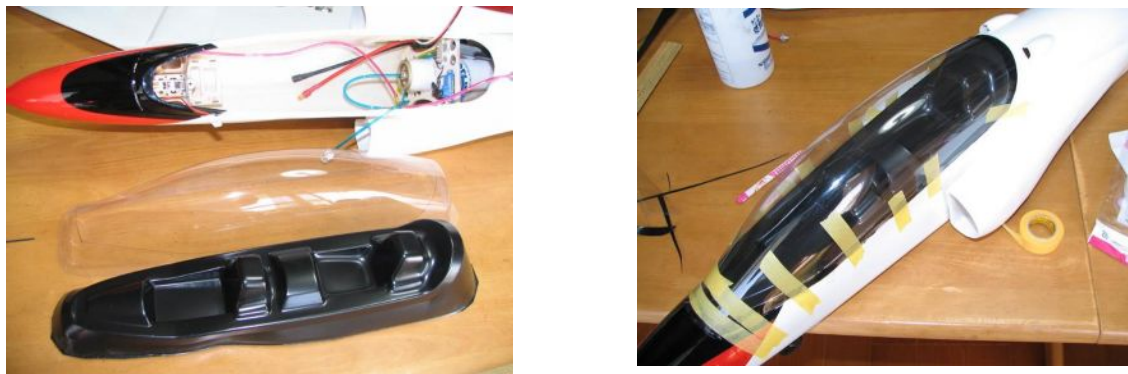
エアー式小型リトラクトユニットは、P7をご覧下さい。

主翼に開いた形を参考にギアの台を接着して作ります。

出来たメインギアの台を、エポキシ等でしっかりと主翼に接着固定します。

screws will go with some thin CA adhesive.

ノーズギアは、写真を参考に、可動出来るように取り付け、リンケージします。
リンケージは、くの字に曲げ、ショックを吸収するようにします。

7. ベリーパンの取付

ベリーパンをABSから、切り出し接着します。
ベリーパンを切り出すときは、1mm～2mm耳を残し接着ののり代にします。
主翼固定のキャップボルトの穴を、開けるのを忘れないようにします。

8. コックピット＆キャノピー

コクピットとキャノピーを、胴体に合わせて切り取ります。
コックピットは、マグネットによって胴体に装着します。

コックピットのマグネット位置に合わせて胴体にマグネットを接着します。

コクピットにキャノピーをスーパーX等のボンドで貼り付けます。

ensure a snug fit.

塗装やカッティングシート（別購入品）で、窓枠を縁取りします。

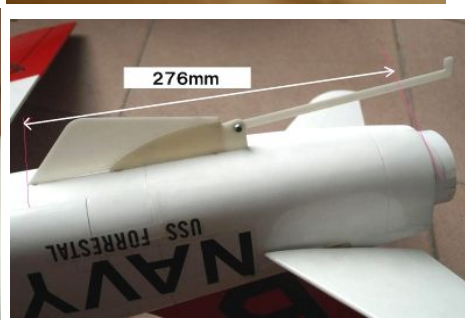
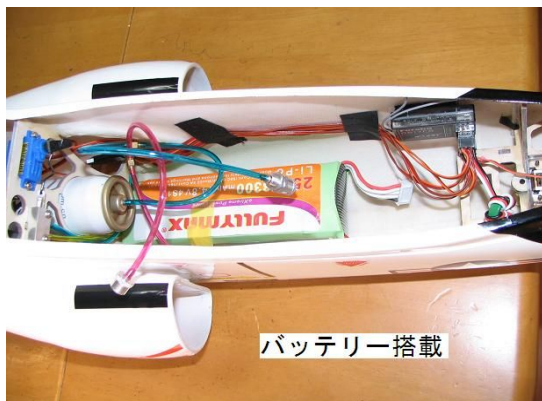
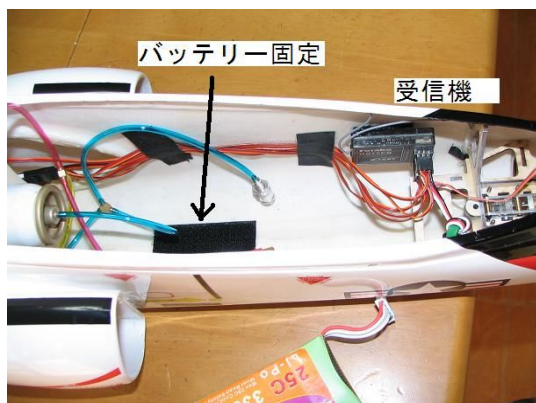
9. インナーダクト

付属のシートでインナーダクトを製作し、胴体後部から差し込みます。
折り目をつけないように、丸めて挿入します。

as shown in the picture below.

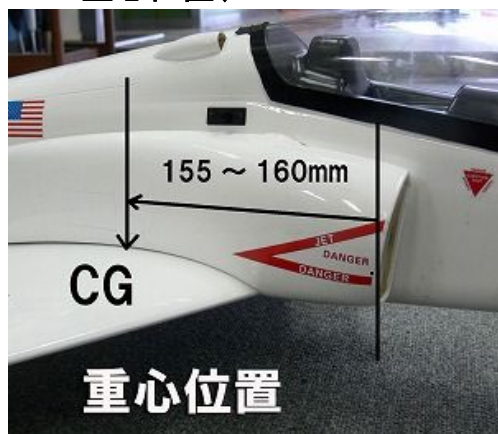
ダクトカバーに、かぶせてインナーを差込み、位置が決まったら接着固定します。
後部出口も瞬間で接着し、後で、余分の部分を切り取ります。

取り付け状態を確認したら、後部から飛び出した、余分のインナーダクトを切り取ります。

10. 外装パーツの装着

11. 受信機、バッテリー

受信機を、邪魔にならないところへ、マジックテープで固定します。

デジタルサーボや、同時に複数のサーボを使う場合には、
BECの電源容量が大きいものを使用して下さい。
アンプから受信機への電源供給を止めて、受信機用バッテリーを
別に搭載する方法もあります。

重心位置を確認しながら、バッテリーを固定する場所を特定します。
位置が決まったら、マジックテープを接着剤で貼ります。
飛行中はずれたり、移動しないように確実に固定しましょう。

12. 重心位置、C.G

重心位置は、インテークの下の部分から、155mm～160mm
の位置にあります。

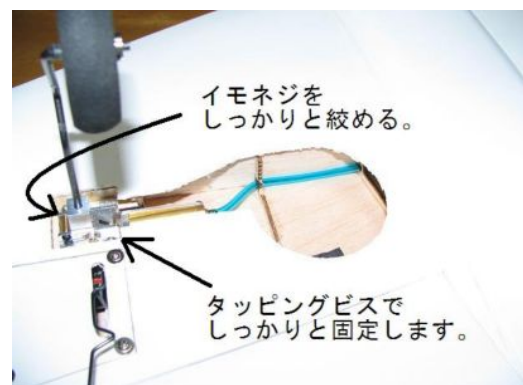
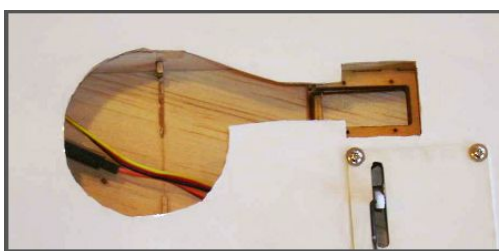
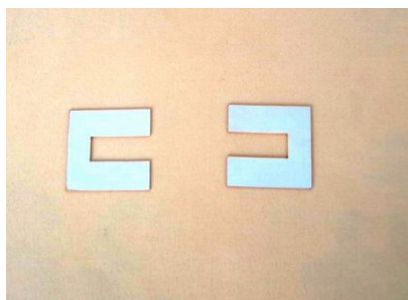
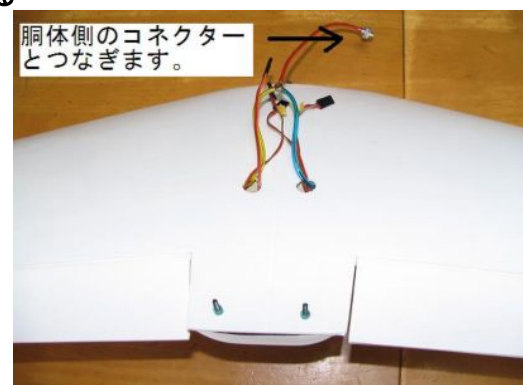
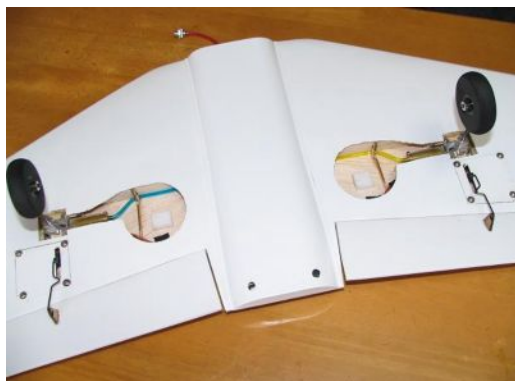
この重心位置はあくまで目安です。
あくまでもフライヤーの好みですので最終的にはお好みの位置に
セッティングして下さい。
飛行中にバッテリーが外れないようにシッカリと固定して下さい。

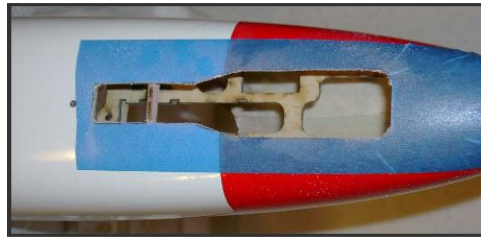
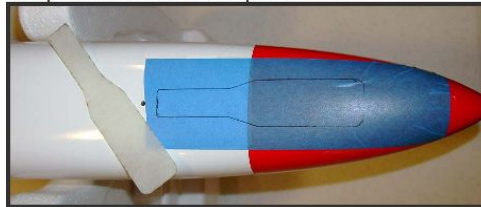
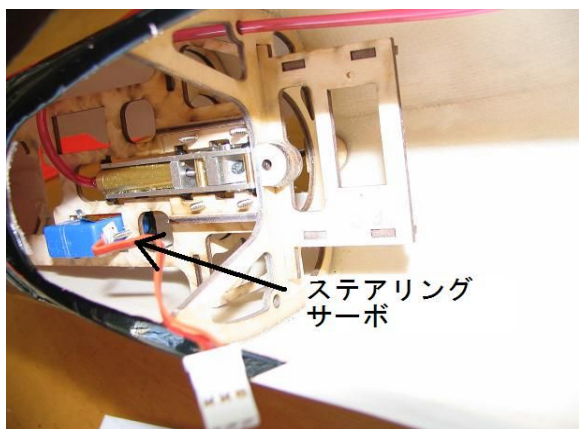
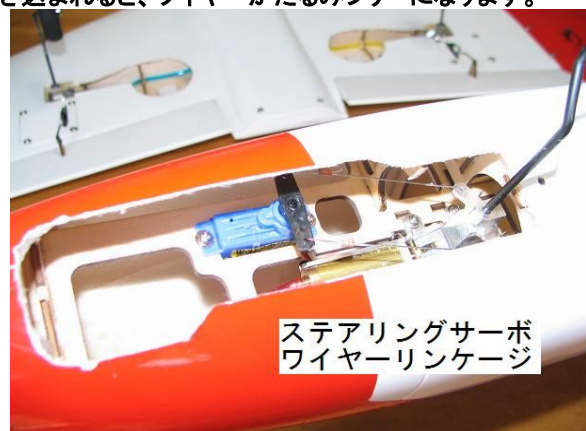
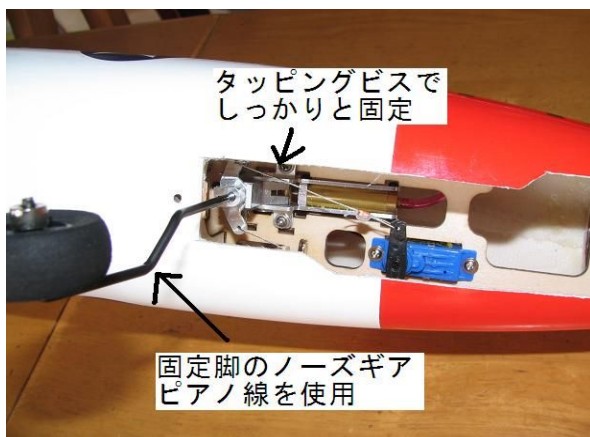
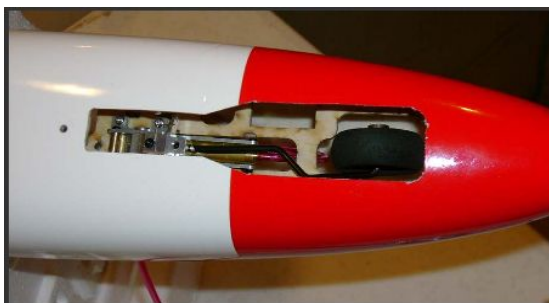
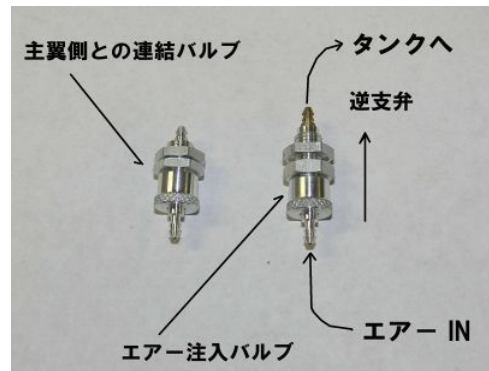
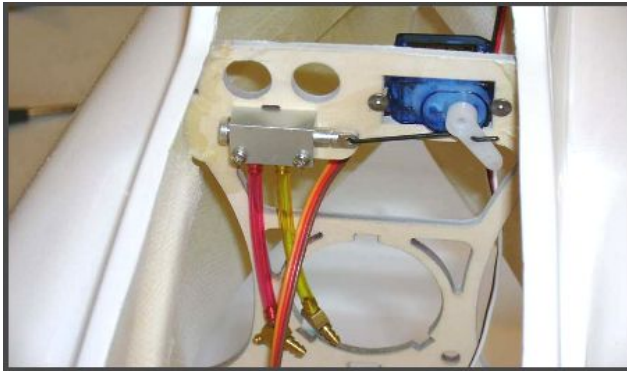
【注意】 重心位置は搭載する機材によって異なりますので、
バッテリー等を移動したり、ウエイトを積む等して合わせて下さい。

【注意】 後重心での初フライトは、飛ばしにくいばかりか、
ピッチングを起こし大変危険ですので事前に十分
重心位置を確認してフライトさせて下さい。

13. デカール 付属のデカールを貼って、ドレスアップします。

エアー式小型リトラクトユニットの装着　（別売ですので、ユニットを購入された方のみ）

固定脚のピアノ線を切り、使用しました。ユニットのピアノ線で、作っても良いでしょう。

主翼の所定の位置を開け、引き込みユニットをタッピングビスでしっかりと固定します。
エアーは、もれやすいので、軽くスーパーX等のボンドをパイプとは、反対側の金属に塗り、予防します。

コの字樹脂パーツを貼る

template shown in the picture below.

胴体ノーズ部・罫書き線

ノーズギアは、罫書き線を参考にカットしユニットをタッピングビスでしっかりと固定します。
ステアリングは、ワイヤーの両引きでリンケージします。引き込まれると、ワイヤーがたるみフリーになります。

the steering linkage.

写真を参考にタンクと、バルブスイッチを取り付けます。配管はユニットに付属の説明書を参考にします。
バルブスイッチのサーボのATV(エンドポイント)は最初から±30%位に動作量を減らすようにプロポ側を設定してから動作させて下さい。そうしないと振り切って、サーボやバルブが破損する場合があります。